

合志市人口ビジョン（素案）の概要

国の長期ビジョン

- 2060年に1億人程度の人口を確保（何も対策を講じなければ8,764万人）
- 合計特殊出生率を2030年に1.8、2040年に2.07まで向上（2014年：1.42）

【今後の基本的視点】

- (1) 「東京一極集中」の是正
- (2) 若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現
- (3) 地域の特性に即した地域課題の解決

熊本県の人口ビジョン（素案）

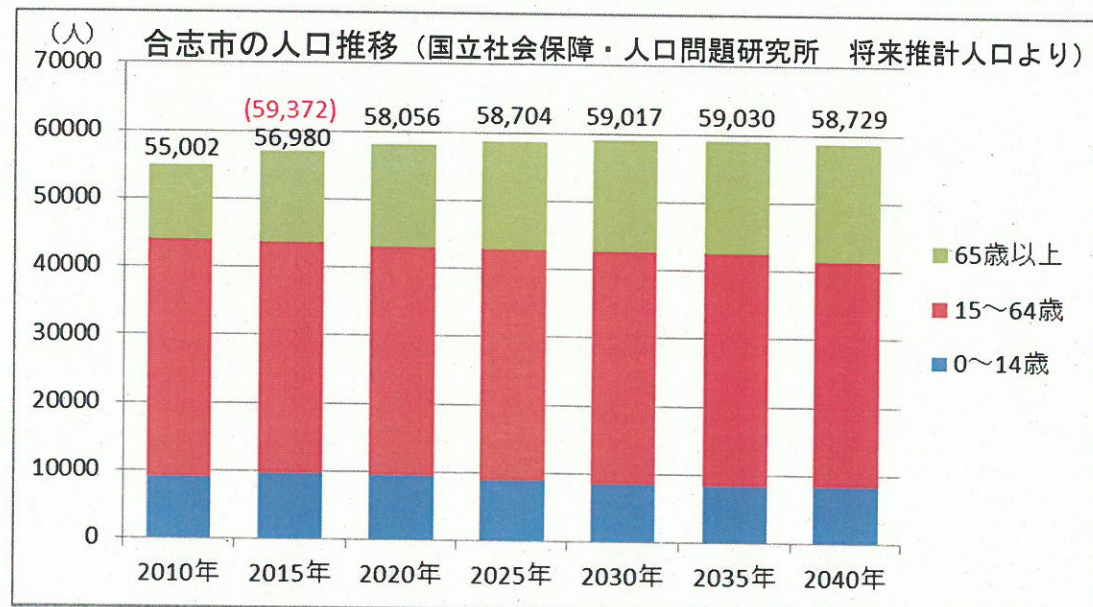
- 2060年に144.4万人の人口を確保（何も対策を講じなければ117.6万人）
- 合計特殊出生率を2030年に2.0、2040年に2.1まで向上（2014年：1.64）

【目指すべき将来の方向性】

- (1) 県民の結婚・出産・子育ての希望を実現する
- (2) 熊本への人の流れを創るとともに、人材の流出を抑制する
- (3) 熊本の発展を支える産業と、魅力ある雇用を創出する
- (4) 県民が誇りを持ち安心して暮らし続ける地域を創る

1. 合志市の人口の推移及び構成

- 本市の人口は現在増加しており、今後もしばらくは増加傾向が続く。
- 2035年あたりにピークを迎えた後、緩やかに減少する。
- 高齢化率は県平均と比較すると低いものの、着実に進行する。
(65歳以上の割合：2010年→2040年 約1.5倍に増加)

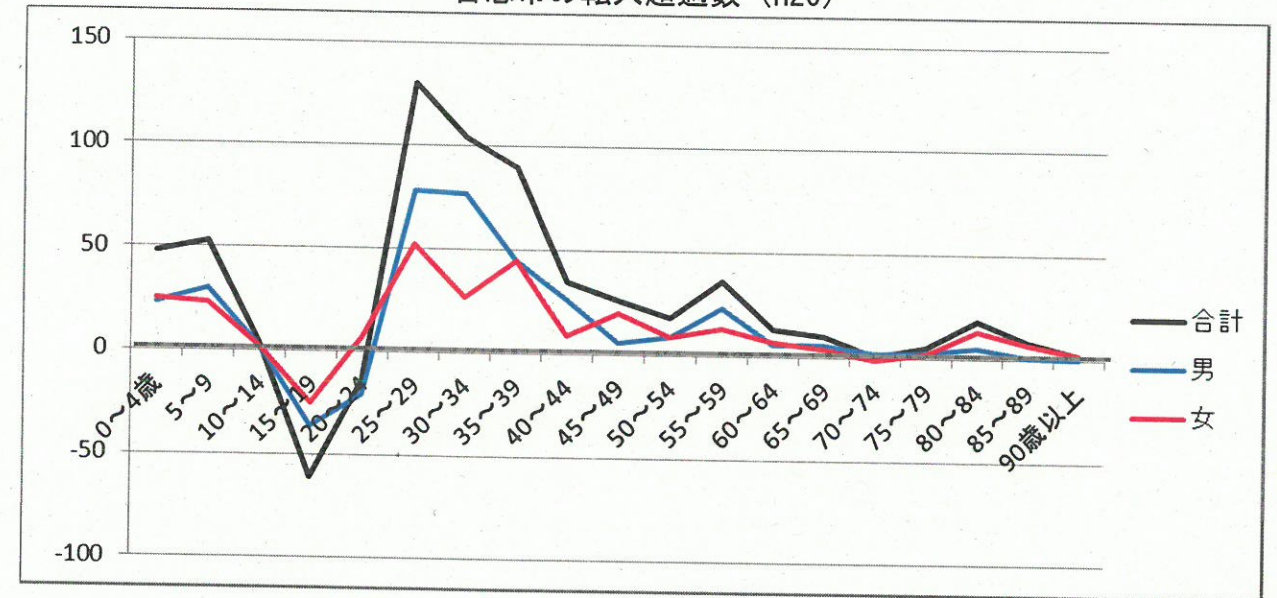


※数値は国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口」を参照

2. その他の特徴・課題

- 自然動態（出生・死亡）と社会動態（転入・転出）は、ともに増加を推移しており、特に社会増が人口増加の主な要因となっている。
- 合志市への転入元は熊本市、合志市からの転出先は福岡県がそれぞれ一番多い
- 転入超過数（転入数と転出数の差）を世代別にみると、ほとんどの世代で増加となっているものの、若年層（15歳～19歳、20歳～24歳）は減少となっており、その傾向は男性に強く、本市で生まれ育った若者が多く流出している。
- 昼夜間人口比率（夜間人口100人当たりの昼間人口）は89.4%となっており、周辺市町村と比較しても低くなっている。（熊本市103.1%、大津町113.9%）

合志市の転入超過数（H26）



※数値住民基本台帳人口移動報告を参照

3. 人口の将来展望

- 人口の増加を図るとともに年齢構成の適正なバランスも重視する
 - 本市は熊本都市圏と県北部をつなぐ重要拠点→県全体の成長エンジンとして地方創生を牽引
 - 全ての人々が安全に、安心して暮らすことができるまち「健康都市こうし」の実現を目指す
- 【地方創生の実現のための4つの視点】
- (1) 稼げる地域産業をつくる
 - (2) 合志市への新しいひとの流れをつくる
 - (3) 市民の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
 - (4) 暮らしに満足し、住み続けたい地域をつくる

※将来の総人口や合計特殊出生率等の数値は現在検討中